

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	小学校教育総務運営事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	02	01	02	01
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	教育総務課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	根本 政廣				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	小学校児童・教職員	意図	小学校における計画的・効率的な学校運営、事務の執行を図る。
事業内容	学校事務員等臨時職員を任用し、学校事務及び用務を行う。また、需用費、役務費等予算を学校配当し、計画的・効率的な学校運営、事務の執行を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	需用費、役務費等予算の学校配当については、児童数、学級数及び教職員数に応じて、毎年各学校に配当している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
指標で表すことができない定性的な成果	学校環境を良好に維持するとともに、学校教育の円滑な運営に大きく貢献している。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度	学校事務員等臨時職員を配置し、また、需用費、役務費等予算を学校配当しており、小学校における計画的・効率的な学校運営が行われている。			
事務事業の総コスト(a=b+c)	93,731,974	93,888,590	101,817,796				
事業費(b)(円)	90,093,524	92,344,830	98,489,846				
うち一般財源	90,093,524	92,344,830	98,489,846				
職員給与費(c)(円)	3,638,450	1,543,760	3,327,950				
人役・職員(人)	0.53	0.23	0.35				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)			0.75				
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	財務規則に従い、予算の執行が適正かつ効率的に行われるように努める。	③取組における課題(Check)	伝票処理等を行う学校事務員は、予算の削減により任用時間及び期間が短縮されているが、児童の増加に伴い業務量が増加傾向にある。
②H30に実施した取組(Do)	学校配当予算を、児童数、学級数等の規模に応じて配当している。予算の執行にあたり、伝票処理による予算執行の手順等を記載した手引書を作成し配布した。また、研修を行った。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	財務規則に従い、予算の執行が適正に行われるように定期的な研修の実施、手引書の改訂を行い、業務効率を高める。